



「自学・友愛・自律」

令和4年4月18日

第2号

鶴中だより



自ら考え、判断し、行動する力

今年度より、冬服と夏服の期間を決めずに、天候や気温、そして自分の体調を考えて制服を選んで着てもらうことにしました。これは、健康管理のしやすさと合わせて、自分で考えて判断し、行動する力を養うことも主眼に置いています。先週は20℃を超える日が続き、さっそく半袖で登校する姿が見られました。昨年までであれば、暑さを我慢して冬服を着ていた場面かもしれません。これからも、様々な場面で「自分はどうしたいのか」「自分ならどうしようか」といった主体的な考えを深められたらと思います。

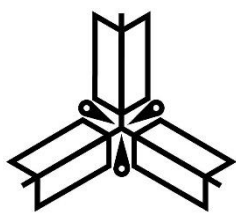


朝の登校風景

玄関先で迎えている教師と互いにあいさつを交わす際、気持ちの通じるあいさつをする生徒がとても多いです。目を合わせてあいさつをする生徒、軽く会釈をする生徒、さわやかな声であいさつをする生徒、遠くからでも大きな声であいさつをする生徒、立ち止まってお辞儀をしてあいさつをする生徒、あいさつの仕方は様々ですが、とても気持ちの良い、一場面です。ただ、生徒同士のあいさつがあまり見られないのは残念です。同じ学校で、同じ学年で、同じ学級で生活する仲間ですから、互いのコミュニケーションの始まりとしても「おはよう」のひと言が増えることを願っています。

校章と校訓

みなさんが毎日目にしている校章の由来を紹介します。



三羽の「鶴」が寄り合って羽を広げた図柄で合併前の鶴来町、蔵山村、林村の三地区の中学生をそれぞれ一羽の「鶴」になぞらえているそうです。また、原画は当時の生徒から公募した中から厳選したものだそうです。この由来を大切に、これからも互いに支え合って学校生活を送っていきましょう。

そして、鶴来中学校の校訓は【自学・友愛・自律】です。

「夢」に向かって自ら学ぶこと。思いやりの心を持って、人のために行動できる「品性」を養うこと。望ましい生活習慣を身につけ「創造力」あふれる活動を行うこと。

この3つの力を身につけて欲しいという想いが込められています。

Good job!

ある日のこと、集会を行っている体育館前のホールを通ろうとした生徒が、互いに「シー」と言いながら会話を止め、静かに通り過ぎて行きました。ほんのちょっとした行動なのですが、自分で考え、判断し、行動できている場面でした。また、他の人への心遣いということからも、素晴らしい行動でした。さすが鶴中生だと実感した一場面でした。

